

令和5年度第1回指宿市地域公共交通活性化協議会
議事要旨

1 日 時 令和5年6月1日（木） 14:00～16:10

2 会 場 ふれあいプラザなのはな館2階 会議室1・2

3 参加者 井上 佳朗, 西 修平, 別府 竜人, 水流 美紀子, 前田 秀作,
永谷 真純, 西村 甲一, 岩本 一宏, 南 崇, 西村 英明,
四村 正二, 坂元 一博, 野元 伸浩, 出島 雅彦, 高田 博憲,
中島 裕一, 山下 秀一

代理出席：有馬 康子, 蛭原 啓介

事務局：宮地 主税, 打越 貴人, 大小田 直人

※欠席者 今村 弘彦, 改元 秀男, 岡 良二, 中川 堅治, 末永 陽一,
下竹 克浩

4 議事要旨

【報告第1号】令和4年度利用実績について

【報告第2号】路線バス「なのはな館～東大川線」乗り込み調査について

(以下, 意見)

議 長 地域の事業者と連携することで, 路線バス・バス回数券の利用促進に繋がるのではないかと。

【報告第3号】令和4年度普及啓発活動について

(以下, 意見)

議 長 指宿市の技能実習生はどのくらいいるのか。

事務局 約400名を超える外国人の登録がされている。

また, 半数の外国人が技能実習生の資格を持って働いている。その他は家族滞在等の方々だと思われる。補足説明として, 今後秋頃に技能実習生が入る段階で, 市が生活に関するゴミの出し方等の説明会を実施する予定である。同時に, 公共交通機関の利用方法なども説明したいと考えている。

【議案第1号】令和5年度指宿市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

委 員 普及啓発活動に関して, 住民説明会やバスの乗り方講座等はどのように実施するのか。

事務局 住民説明会については、基本的に要望があった地区等に伺い、意見交換を行いながら説明を行う予定である。

バスの乗り方講座に関しては、昨年度は外国人を対象に実施したが、口頭説明のみでは伝わりにくい印象だったため、今後は実車を使い、実践しながら説明したいと考えている。

議長 需要喚起する視点で考えた場合、積極的に住民説明会を持ち掛ける方法も検討してほしい。

委員 利用者を維持する方法を積極的に考える必要がある。

バスの乗り方講座について、事業者の協力を促して実施していくことも考えるべきである。

《議案可決》

【議案第2号】令和5年度指宿市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)

委員 「指宿市のりものガイド」の更新版発行について、予算は事業費として計上しないのか。

事務局 指宿市の一般会計で予算を組んでいるため、計上していない。

《議案可決》

【議案第3号】乗合タクシー停留所の新設について

事務局 バス停新設を前倒ししたいと考えている。

委員 前倒しは、問題はない。

委員 バス停新設に関して、停留所が増えると市の管理が大変になるのではないかと。エリアー帯としての対応はできないのか。

事務局 利用者から行きたい場所の申し出があった場合、その都度協議会で諮りを行い、新設をしていきたいと考えている。

また、エリアー帯を行先にすることに関して、今後様々な情報をもとに検討していきたい。

委員 市民から簡易郵便局等にもバス停新設をしてほしいとの要望もあったため、今後検討をしてほしい。

《議案可決》

※バス停新設日が令和5年9月1日に変更。

【議案第4号】令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

① 制度概要について

② 令和6年度計画内容(案)について

委員 乗合タクシーに関して、新型コロナウイルス感染症が5類に下がったこともあり、最低でも2.0人以上の人員を目指す取り組みを考えるべきである。

事務局 実現可能な範囲で目標乗車人員を設定し、今後より多くの方に利用していただけるよう取り組みたい。数値目標を1.0人と設定しているが再度検討させていただきたいと考えている。

委員 乗合タクシーに関して、利用者が予約をしてもタクシーの空きがない、他の場所にいるため間に合わないという対応をされ困っているとの苦情が寄せられている。予約者専用の車はないのか。

委員 自社の乗合タクシーの予約は一度もお断りしていない。
また、利用者のご意見としては、用事がある曜日に運行がないため、格安で利用できないことが残念であると聞いている。
他に、高齢者から電話予約は負担があるとの意見があった。

《議案可決》

【議案第5号】(仮称)指宿市地域公共交通計画の策定について

委員 受託事業者の決め手になったポイントは何か。

また、計画の名称は他の自治体も同様な名称なのか。

事務局 先日2社のプロポーザルを行い、委員の中から5名の方に選定に参加していただき、多数が優先交渉権者の提案に賛同した。また、全国的に様々な自治体から委託を受けており、持続可能な交通系統を試していることもあり、評価されたポイントだと捉えている。

名称に関しては、全国的に同様な名称である。

議長 10・12月に予定の協議会は、こういった内容を話し合うのか。

事務局 現時点では、10月の協議会で今後実施する調査の報告と計画の素案について提示する予定である。12月は、パブリックコメント前のブラッシュアップする前の計画案を提示し、審議を行う予定である。

議長 パブリックコメント後の正式決定に対し、協議会は関与しないのか。

事務局 協議会を開催する場合は、改めて事務局から連絡する予定である。

《優先交渉権者を受託事業者として議案可決》

5 地域公共交通調査の計画案について(コンサルタント説明)

6 意見交換

① 鹿児島交通株式会社

- ・ 2019年4月に鹿児島県内全域の路線バス約2,500便あったが、2023年4月時点までに約1,700便に減便した。運転手不足が減便理由の大きな要因。
- ・ 運転手の雇用可能な年齢を73歳→75歳へ引き上げたことで、約6名が復帰。
- ・ 九州各県の代表するバス会社連名で免許所持の外国人を技能実習生として働けるよう国に提案している。

2023年度売上に対する、2019年度及び2022年度売上との比較		
	2019年度比	2022年度比
指宿営業所管内	68%	114%
鹿児島空港線	57%	199%
鹿児島市外	72%	116%
鹿児島市内	71%	105%
鹿児島空港⇔鹿児島市内線	89%	156%
総括	71%	109%

② 九州旅客鉄道株式会社

- ・ 現在の利用者は、2019年度の利用者数の約9割戻ってきている。
- ・ 定期券利用者は横ばいである。
- ・ 外国人観光客の新幹線利用が増加している。
- ・ 指宿のたまたま箱は乗車客が約9割埋まっている。

③ 種子屋久高速船株式会社

- ・ 前年度に対して利用客が約94%、2019年に対して48%の利用客が戻ってきている。

④ 鹿児島県タクシー協会

- ・ 指宿のタクシー営業所は、コロナの影響で7社→5社に減っている。
- ・ 乗務員不足が進み、昨年12月時点で65歳以上が74%を占めている。今後、規模縮小も視野に入れている。
- ・ 指宿市の人口減少に伴い、市民のタクシー利用は減っていくと考えられる。
- ・ 指宿市の主要駅の約2km圏内にある空き屋等を利用した移住者制度を検討したらよいのではと考える。

⑤ 国土交通省九州運輸局(オブザーバー)

- ・ 地域公共交通計画の策定において、自治体公共交通事業者、地域の連携と協力の部分を追加している。

7 その他

委員 路線バスにおいて、金生町行きの便が1日5便あるが指宿の観光地も停車できるよう追加できないか、今後検討してほしい。